

## 長崎県における水稲中生の晩有望系統「西海250号」の栽培特性

古賀潤弥・土谷大輔  
(長崎県総合農林試験場)Junya Koga and Daisuke Tuchiya :  
Characteristics of a New Medium-maturing Rice Cultivar "SAIKAI250" in Nagasaki Prefecture

長崎県では、「ヒノヒカリ」が水稲作付面積の約7割を占めており、1品種への集中は収穫体系や共同乾燥施設利用の分散、気象災害の回避等の面から課題となっている。このため生産者からは「ヒノヒカリ」と作期分散が出来る良食味品種の選定が強く望まれている。

一方、実需者からは、「ヒノヒカリ」より低い価格で販売できる品種が求められていた。

そこで、中生の晩種の有望系統として選定した、多収・良質・極良食味の「西海250号」の特性について報告する。

## 1. 育成経過

本系統は多収・良食味品種の育成を目標に1996年九州農業試験場で早生・多収・極良食味の「は系626」（後の「西海232号」）を母とし、早生・多収・極良食味の「北陸174号」を父として人工交配、2000年から「泉722」の名で生産力検定、2001年に特性検定試験、系統適応性検定試験に供試された。2002年には「西海250号」の地方名で各県に配布され、長崎県でも2002年から奨励品種決定調査に供試している。

## 2. 特性概要

本系統は「ヒノヒカリ」と比較して、出芽は早く、揃いも良い。移植期の草丈は高くやや徒長する。出穂期は3日遅く、成熟期は4日遅い「中生の晩」である。稈長は同程度で稈質はしなやかである。穂数はやや少なく、一穂粒数も少なく総粒数は少ないが、千粒重が重く、やや多収である。玄米は粒揃いが良く、粒厚が厚く、粒張りも良い。搗精歩留りも良い。外観品質は優れ、乳白粒・心白粒・背白粒の発生が少ない。乳白粒の発生は

「ヒノヒカリ」と同様に、総粒数の増加とともに増加する傾向がある。食味は「ヒノヒカリ」並の極良食味である。

## 3. 今後の方向

2005年に県奨励品種に採用予定であり、2006年から県央、県南部の平坦部を中心に普及を図ることとしている。

第2表 粒厚分布（重量比%）

品 種 系統名	標肥			多肥		
	2.0mm 以上	1.9mm 以上	1.8mm 以上	2.0mm 以上	1.9mm 以上	1.8mm 以上
西海250号	90.9	96.0	97.7	90.5	94.9	96.6
ヒノヒカリ	74.3	90.2	96.1	73.9	89.6	95.4

注) a) 標肥、多肥とも2003年。

第3表 玄米品質および検査等級

施肥	品 種 系統名	心白粒 (%)	腹白粒 (%)	乳白粒 (%)	基白粒 (%)	背白粒 (%)	検査 等級
標肥	西海250号	1.3	0.0	1.0	0.3	0.3	2.0
	ヒノヒカリ	14.0	0.0	4.7	0.3	20.0	5.0
多肥	西海250号	0.6	1.0	6.3	0.3	0.0	3.0
	ヒノヒカリ	6.7	0.0	16.0	1.0	8.7	5.0

注) a) 検査等級：1（1等上）～10（規格外）の10段階表示。

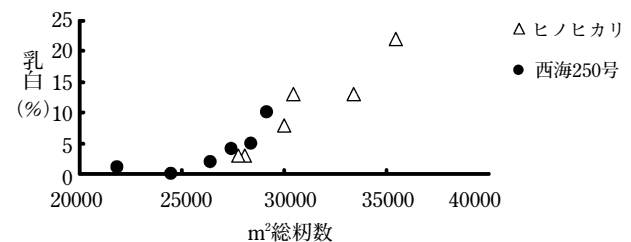
第1表 生育・収量調査

品 種 系統名	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	一穂 千粒重 (g)	精玄 米重 (kg/a)	品質
標肥 西海250号	8/29	10/11	79.1	18.8	307	88.0	24.7	54.3 1.0
ヒノヒカリ	8/26	10/7	80.4	19.7	314	97.5	23.3	53.3 4.5
多肥 西海250号	8/29	10/13	86.3	20.4	312	91.0	24.9	65.6 1.7
ヒノヒカリ	8/27	10/10	89.1	20.5	332	99.8	23.4	59.6 6.3

注) a) 標準：移植期 6月18日，施肥量（Nkg/10a）基肥－追肥－穂肥＝5－2－3（2002～2003年平均）。

b) 多肥：移植期 6月18日，施肥量（Nkg/10a）基肥－追肥－穂肥＝7.5－2－4.5（2003年）。

c) 品質：1（上の上）～9（下の下）の9段階表示。



第1図 粒数と乳白粒の発生（2003年）

第4表 食味官能評価

実施月日	品種・系統名	総合	外観	香り	味	粘り	硬さ	パネル数
2002.11.27	西海250号	0.000	0.050	0.000	-0.100	-0.050	-0.300	20人
	日本晴	-0.850**	-0.150	-0.350**	-0.600**	-0.750**	0.750**	
2003.11.14	西海250号	0.050	0.000	0.050	0.000	0.100	-0.450*	20人
	シンレイ	-0.650**	0.050	-0.200*	-0.300	-0.650**	0.100	

注) a) \*\*は1%，\*は5%の有意水準で基準品種と有意差があることを示す。

b) 基準品種はヒノヒカリ。